



九州大学アジア・オセアニア研究教育機構「Kyushu University Asia Week 2026」 アジア・オセアニア賞発表ポスター募集要領

2026年9月

1. 目的

九州大学アジア・オセアニア研究教育機構は、アジア・オセアニア地域で今日生じている社会的課題の解決、さらには将来生起することが予想される社会問題の発生抑制に貢献することを通じて、未来を拓く新たな学問領域の構築を目指し様々な活動を行っております。

この度、2026年11月2日（月）から11月7日（土）の間、「Kyushu University Asia Week※ 2026」を開催し、この関連プログラムの一つとして未来のアジア・オセアニア研究を担う若手研究者、大学院生、学部生の参加によるポスター発表会を行うこととしております。ポスター発表会では、革新的な研究の発掘、奨励を目的とし、また、活発な議論の場となることを期待しております。皆様のご応募を心よりお待ちしております。

※Kyushu University Asia Week

九州大学において、アジアに関する膨大な研究教育の蓄積・実績及び新たな展開の可能性を国内外へアピールすることにより、本学のプレゼンスの向上及び海外大学等との連携強化、さらには新型コロナウイルス感染症収束後を見据えた新たな国際交流・国際連携体制の構築促進を図ることを目的とし、2020年から開催。

2. 募集の内容

アジア・オセアニアに関係するすべての分野を対象として、研究・取り組みの成果を募集します。アジア・オセアニアに関係する研究であれば、専門分野、手法、ターゲットとなる国を問いませんが、SDGs（国連持続可能な開発目標）の実現に資する研究・取り組みを強く推奨しています。本年度より新設した観客賞では、発表者自身が設定した「問い」を核とした研究発表を求めます。あなた自身が追いかけている問いとそのアプローチを、専門外の人にも伝わるかたちで示してください。

3. 応募資格

（1）若手研究者部門

2026年4月1日現在で博士号取得後8年未満の本学に在籍する若手研究者*（教員及び学術研究員）

*博士課程単位取得退学後及び博士の学位を取得後に取得した産前・産後の休暇、育児休業の期間を除くと、博士の学位取得後もしくは単位取得退学後8年未満となる者を含む。

（2）大学院生・学部生部門

2026年度に本学の大学院及び学部在学する者（年齢不問）

4. 授賞ランク、件数及び研究教育奨励費

（1）最優秀賞：1件、研究教育奨励費：10万円

（2）優秀賞：2件、研究教育奨励費：各5万円

（若手研究者部門と大学院生・学部生部門のそれぞれから1件授賞）

（3）特別賞：2件、研究教育奨励費：各3万円

（若手研究者部門と大学院生・学部生部門のそれぞれから1件授賞）

（4）観客賞：1件、研究教育奨励費：2万円

（来場者（学生・一般・発表者を含む全参加者）による投票結果を基に1件授賞）

※研究教育奨励費に係る注意事項：

- ・授賞ランクに応じて、研究教育奨励費として学内研究費を配分します。
- ・若手研究者部門は受賞者に、大学院・学部生部門は受賞者の所属研究室に2026年4月1日付けで配分します。
- ・翌年度への繰越はできません。
- ・使途の制限は設けませんが、本学の諸規定等を遵守して適切な執行管理（大学院・学部生部門は、所属研究室の管理・監督の下）に努めてください。また、大学院・学部生部門の受賞者のうち研究室に所属していない場合は、I²CNER・Q-PIT 共通事務支援室で管理します。

5. 申請手続・締切日

(1) エントリー

ポスター発表等に先立ち、氏名、所属、学年／職名、応募部門（若手研究者部門／大学院生・学部生部門）、あなた自身の研究における「問い」（一文）を以下のエントリーフォームよりご提出ください。

・エントリーフォーム：<https://forms.cloud.microsoft/r/M6ugHq5R89>

・**エントリー期限：2026年9月28日（月）正午**

※応募多数の場合、エントリー時に記載いただいた「問い」を基に事前審査を行うことがあります。

(2) ポスターデータ及び動画の提出

エントリー後、以下のポスターデータ及び1分動画を締切日までに提出ください。

・提出方法、フォーマット：エントリー後に個別にお知らせします。

・**提出期限：2026年10月15日（木）17時00分**

①ポスターデータ

ポスターの上部（全体の上部1/5程度）に、あなた自身の研究における「問い」を一文で大きく記載してください。専門用語を使わず、分野外の人を読んでも好奇心を掻き立てられる表現にしてください。使用言語は英語とします。（図1. ポスター参考例を参照ください。）

（例：

「なぜ、多くの人は『得をする話』より『損を避ける話』に強く心を動かされるのだろうか？」

「台風で杉は倒れるのに、竹はしななって耐える。この違いを生んでいるものは何か。」
「効く人と効かない人がいる薬—その分かれ目にあるものは何だろうか？」）

※他の学会・機関に提出したポスターの転用は認められません。本発表会のために新たに作成したものを提出してください。

②動画

研究内容を紹介する1分程度のプレゼン動画を作成ください。ポスターの図表だけでは伝えきれない研究の問いや意義を、口頭で補うための資料です。使用言語は英語とします。（スマートフォン等での撮影・作成で可）

6. 選考方法及びスケジュール

○**エントリー期限：9月28日（月）正午**

○**事前審査結果発表日：10月5日（月）**※応募者多数の場合

○**ポスターデータ及び動画の提出期限：10月15日（木）17時00分**

◎**ポスター発表及び授賞式：11月5日（木）13時30分～16時00分**

（会場：伊都キャンパス I²CNER ホール前、発表の使用言語：英語を基本とします。）

※スケジュールは都合により変更が生じる場合があります。

- ・ 応募多数の場合、事前審査を行うことがあります。この場合、アジア・オセアニア賞選考委員会によりエントリー時に記載された「問い」の内容を審査し、ポスター発表を行う最終候補者50名程度を選抜の上、10月5日（月）までにお知らせします。
- ・ 最終審査では、11月5日（木）にポスター発表を行い同日に授賞式を執り行います。
- ・ 当日のポスター発表の方法等については、ポスターデータ提出締切後にお知らせします。

7. 審査の観点について

以下の観点を踏まえ、専門外の審査者にも伝わるよう、平易な表現・図・改行・スペースを効果的に使ってポスター及び動画を作成してください。

【専門家審査員による審査（最優秀賞・優秀賞・特別賞）】

（i）研究の学術的背景・重要性

- ・研究に至った背景の学術的な意義が明確かつ分かりやすいものであるか。
- ・SDGsの実現に資する重要な研究であるか。

（ii）研究の独創性・「問い」・波及効果

- ・柔軟な発想や手法等に基づく斬新性、独創性が高い研究であるか。
- ・科学技術、産業及び文化など、幅広い意味で社会に与えるインパクト・貢献が期待できるか。

※「社会に与えるインパクト・貢献」には、理論的・制度的・歴史文化的・規範的な貢献も同等に含む。

- ・分野や研究手法の違いにかかわらず、「問い」の独創性と学術的な意義があるか。

（iii）研究内容の明瞭性

- ・専門外の審査者から見ても十分理解できるような明確かつ分かりやすい記載となっているか。
- ・全体的に平易な表現を用い、図や改行、スペース等を効果的に使用するなどして審査者が読みやすいように整理されているか。

【来場者・発表者による投票（観客賞）】

（iv）観客賞の投票基準

- ・ポスター冒頭の「問い」が最も独創的でわかりやすいと感じたものや、直感的に「面白い問い」と感じたものを選んで投票してもらいます。

8. その他

- ・受賞者は、アジア・オセアニア研究教育機構で開催するセミナー・シンポジウム等において、研究成果公開の取組（口頭発表、ポスター発表など）に参加してください。
- ・生成AIの利用にあたっては、九州大学の教育における生成AIの利活用に関する基本姿勢*に準じ、利用した場合はその旨を明示してください。

*（参考）未来人材育成機構「九州大学の教育における生成AIの利活用に関する基本姿勢」

<https://mirai.kyushu-u.ac.jp/topics/1463/>

9. 問合せ先

九州大学 I²CNER・Q-PIT 共通事務支援室（IQ 支援室） 学術支援・渉外グループ

担当 : 図師、只松

E-Mail : aoevent@jimu.kyushu-u.ac.jp

TEL : 092-802-2605（内線：伊都 90-2605）

この情報は、Asia Week 2026 特設サイト <https://asiaweek.kyushu-u.ac.jp/ja/boshu> にも掲載します。

図 1. ポスター参考例 (A0 版)

Poster height (100%)

1/5

Flood Risk Perception and Resilience in Coastal Southeast Asia

A Multi-Site Study on Disaster Risk Reduction and Community Decision-Making

My Research Question

Why do coastal communities keep rebuilding in flood zones even after repeated disasters?

Asia Week 2026 / Asia-Oceania Award

① Background



② Methods & Findings



③ Discussion & Impact

References

Sample Poster

Kyushu University Asia Week 2026 / Q-AOS Asia-Oceania Award